

2018年12月26日 COP24報告セミナー
「世界の潮流と日本のゆくえ—さらに強まる2℃/1.5℃目標の実現に向けたコミットメント—」
ノンステートアクターの見たCOP24

COP24参加報告

積水ハウス株式会社
常務執行役員
環境推進部長

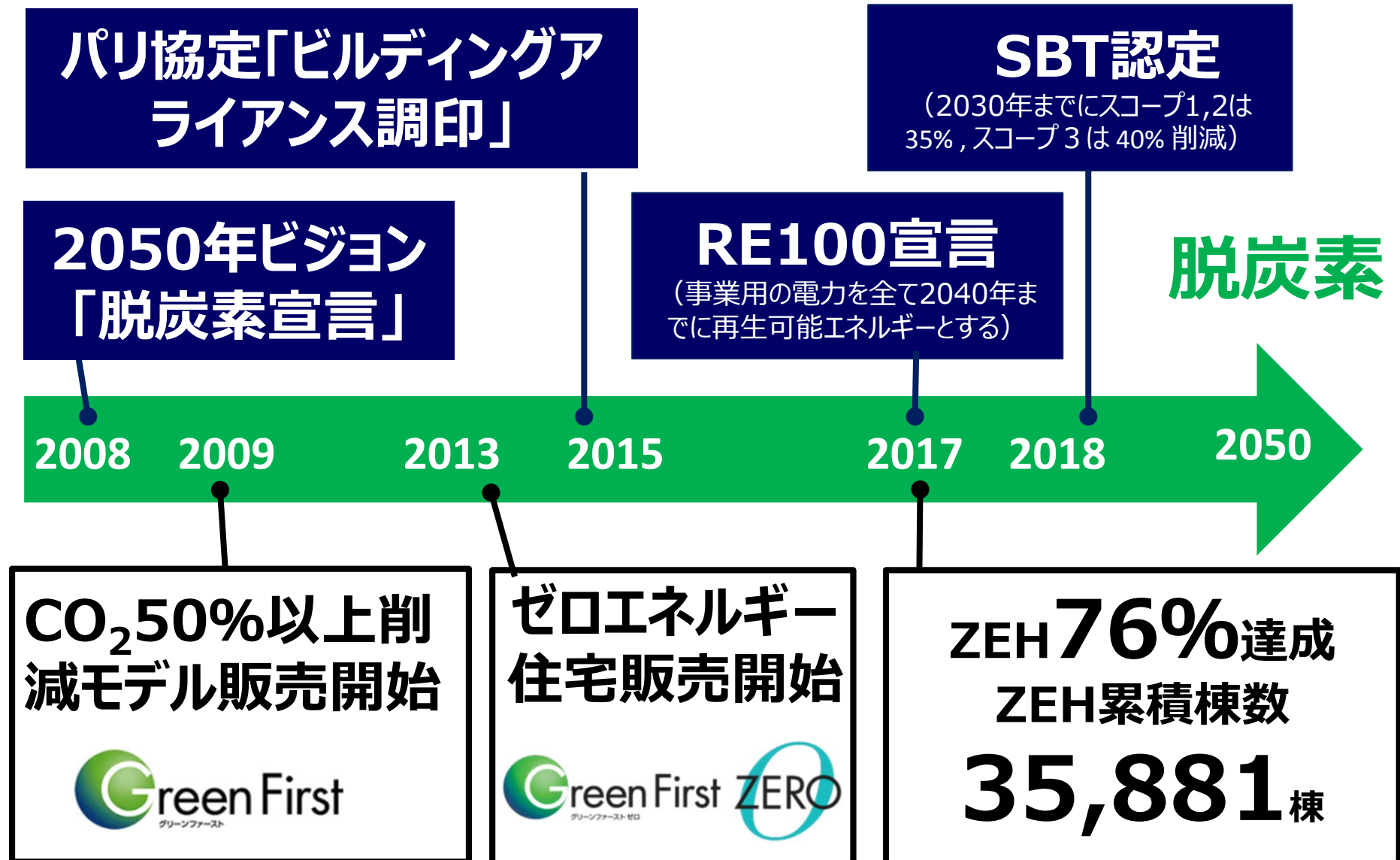
日本気候リーダーズ・パートナーシップ
共同代表

石田建一



写真JCI

2050年“脱炭素”に向けて



Global Alliance for Buildings and Construction

- ・建物部門は、世界のGHG排出量（IEA / UNEP、2018）のほぼ40%に達している
- ・建物の最終エネルギー需要は、急速な都市化と建築面積の倍増（2060年までに2,000億m²、UNEP2016）のために、2015年比で2050年までに50%増加する可能性がある
- ・建物セクターの効果的な脱炭素化は、パリ合意目標を達成のためには、非常に重要
- ・建設時のコンクリートや鋼鉄などからのGHG排出量の削減も重要



COPになぜ参加するのか？

- ・世界の本気度を肌で感じる為
(日本にいるとわからない)

